

消防防災分野において有効に活用できると認められる
「消防防災製品等」の推奨

消防防災製品等推奨品

(一財)日本消防設備安全センター



一般財団法人 日本消防設備安全センターでは、平成20年7月25日付けで、もみがら炭製で、撥水性と親油性を有し、性能を維持したまま長期保存でき、油流出災害時に油回収ができる「油吸着材（もみがら炭製）」を次のとおり推奨しました。

システム・機器名	油吸着材
システム・機器型式記号	オイルワイパー
申請企業名	進展工業株式会社
推奨番号	推防災第5号
推奨年月日	平成20年7月25日
推奨の有効期限	平成27年3月31日



油吸着材
オイルワイパー
450 mm×450 mm
(もみがら炭 2L入り)



リングにロープを通す事で
製品同士の連結が可能です



用途に合わせて四分部に切断が
可能です

本製品は、油漏流出災害時に油を回収できる油吸着材で、次に掲げる特長、構造・機能を有するものである。

1 特長

- (1) 油吸着材はもみがらを炭化したものを使用するため、未使用なものは土壌に戻すことができる。
- (2) 油吸着材のもみがら炭は、自重の5倍以上の油を吸い込むことができる。
- (3) 油吸着材は水に沈まないため、表面の浮いた油のみを吸着することができる。
- (4) 油吸着材は直接散布可能なため、陸上での油吸着ができる。
- (5) 油吸着材は長期保存が可能である。

2 油吸着材の構造・機能

- (1) 油吸着材のもみがら炭は細孔が $1.4\mu\text{m}\sim 4.6\mu\text{m}$ のため、水は表面張力が大きいいため細孔を塞いでしまい、表面張力の小さい油は細孔に入るため油のみを吸着することができる。
- (2) 油吸着材には低含水率もみがら炭を使用しているため、撥水性が強く水に浮いた状態で水面上の油吸着性にすぐれている。
- (3) 油吸着材はもみがらを $400^{\circ}\text{C}\sim 500^{\circ}\text{C}$ の低酸素状態で炭化し、間接冷却した低含水率のもみがら炭を不織布の袋に入れたものである。
- (4) 油吸着材は重油、機械油、灯油及びガソリンについて吸着が可能である。
- (5) 道路や床に漏洩した油については、袋の中のもみがら炭だけを直接散布して油吸着をすることができる。
- (6) 油吸着材は $450\text{mm}\times 450\text{mm}\times 20\text{mm}$ の大きさで、1枚(もみがら炭2L)で1Lの油吸着することが可能である。
- (7) 油吸着材の外装を田の字構造としているため、用途にあわせて4分割(もみがら $0.5\text{L}\times 4$)に切断して使用することができる。
- (8) 油吸着材の角4ヶ所にリングを取り付けてあるため、ロープやフックを取付ける事で吸着材同士を連結させる事ができ、吸着フェンスにすることができる。
- (9) 油吸着材は保存時の湿気の侵入による性能低下を防ぐため、外装袋に酸素を通しにくい特殊な保存袋を使用し、脱酸素剤及び乾燥剤を入れて密封したもので長期保存が可能である。

付帯事項

- 1 本製品の保管については、通気性の良い冷暗所とし上には物を載せないこと。
- 2 油吸着の目的以外には、使用しないこと。
- 3 本製品の安全と性能維持のため、製品梱包用ビニール袋を使用目的以外での開封をしないこと。
- 4 本製品で吸着される液体の性質に応じて危険の無いように取り扱うこと。
- 5 本製品の使用後の廃棄については地域行政の決まりにしたがうこと。

本推奨製品に関するお問い合わせ先

・一般財団法人日本消防設備安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館7階

TEL 03-3501-7910/Fax 03-3509-1194

・進展工業株式会社

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地670番地7

TEL 025-267-3762/Fax 025-266-3495